

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

文教厚生、建設経済常任委員会は、閉会中の所管事務調査を実施しました。また、9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（渡辺利治委員長）

☆曾於市施設整備基金 条例の制定について

問 他との整備修繕費等の違いは。

答 曾於市が指定管理を委託している施設より益金の寄附で基金を積んでいる。そのお金で指定されている施設のみの整備費である。

☆曾於市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例 一部を改正する条例

3 条例はいずれも文言の整理等であり、議員報酬の手当等が発生するものでなく、今までと同じである。

☆平成20年度曾於市一般会計 予算の補正について(所管分)

問 消防機材修繕料100万円の使途は。

答 小型ポンプの修繕料が、40万円位で、残り60万円は今後想定される修繕費として使う。

問 電源立地対策交付金ほどのようなものか。

答 月野発電所が1,000キロワット以上の施設であり、大隅町八合原地区の排水対策工事に充当され、今年度分は510万円となる。

問 思いやりふるさと寄附金の動向は。

答 垂水市204万円、志布志市は0円であり、全国では2億円である。本市は県と市を合わせ、53万6千円である。

問 今回の賦課徴収費の住宅税基幹システム改善業務委託料の人数は。

答 約1,600人を見ている。

問 住民税の納税対象者はどれだけか。

答 普通徴収9,504



電源立地対策交付金による排水工事（大隅町八合原）

郵政民営化法の見直し に関する陳情書

人、特別徴収6,943人である。

に支障が生じないように法的な見直しを含め、郵政3事業が一体のサービスとして、運営されるべきであると意見の集約を見て採択して関係機関へ意見書の提出を行った。

本陳情は、委員会審査において、郵便、貯金、保健のサービスが将来とも郵便局において、確実に提供され、国民の利便

☆所管事務調査

（調査事項）

・資源循環型社会への取り組みについて
 ・ごみ処理施設の運営について

（内容）

・福岡県大木町

おおき循環センターでは、これまでゴミとして焼却・海洋投棄してきた有機物（生ごみ、し尿、

・福岡県筑紫野市

「クリーンヒル宝満」は、筑紫野・小郡・基山



筑紫野市「クリーンヒル宝満」

浄化槽汚泥）をメタン発酵処理、発生させたメタンガスを燃料にして電気や熱エネルギーを発生させ、施設内利用、また発酵を終えて残った消化液を有機液肥として農地に還元しており、市民・事業者・行政が一体となった資源循環のまちづくりが行われていた。

清掃施設組合により清掃事業を展開している最新鋭の設備で、1日125トンの処理能力を持つ高温ガス化直接溶融炉を2基備え、溶融物の資源化と熱回収による発電と給湯を実現していた。

☆平成20年度曾於市一般会計予算の補正について（所管分）

問 末吉老人福祉センター施設修繕費として57万7,000円が計上されているが、整備内容と建物の老朽劣化状況は。

答 屋上からの雨漏りが原因で、和室天井部がはがれているため屋上防水及び天井を補修する応急的な修理である。建物は、すでに30年を経過しており経年劣化が進んでいる。

問 末吉総合センターの舞台吊物点検委託料の増は。

答 国の指導に基づく指針で点検回数が使用頻度により示され、当施設は

年間30回以上利用されており安全面を考慮して、点検回数を年4回に増やした。

問 大隅中学校通学バス運行事業（債務負担行為）の補正が計上されているが、財部町における通学バス運行委託に対する措置は。

答 債務負担行為は、平成21年度から23年度分であり、今回の補正は燃料高騰に伴うものである。財部町の通学バス運行委託については、今後燃料の価格変動影響度を調査していきたい。

☆平成20年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正（第2号）について

問 後期高齢者支援金分について問い合わせが何件あったか。

答 保険料に関すること、納付方法に関することなど342件の問い合わせがあった。

問 平成21年度以降の予算編成について。

答 基金残高の状況から、平成21年度まではなんとか予算編成できると思っているが、後期高齢者支援金など、先の見通しが立たないところもあり、平成22年度以降は厳しい財政状況が予想される。



老朽化している末吉老人福祉センター

☆平成20年度曾於市老人保健特別会計予算の補正（第2号）

平成20年2・3月実績等に伴う電算共同処理委託料の増額がおもなものである。



市営住宅調査（大隅町中野団地）

☆所管事務調査

○農林業・畜産振興に関する調査

（調査の内容）

平成20年度曾於市秋季畜産品評会が各支所で開催され、曾於市の代表として合計49頭が曾於地区畜産共進会に出品することになった。

○市営・市有住宅調査（調査の内容）

曾於市内の市営・市有住宅調査を平成20年4月28日に行い、未調査分

ついて今回7月29日に現地調査を行った。

市有住宅計1,147戸の住宅を団地ごとに現地調査を行い、入居者状況及び周辺の環境、建物の状態管理について調査を行った。

☆曾於市有住宅条例の一部を改正する条例の制定について

昭和43年度に建設された笠木団地（大隅町中之内）の市有住宅1戸の用途廃止に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 用途廃止の状況について

答 本年度については、用途廃止を行い、跡地については地域振興住宅を建設する。

☆団体営土地改良事業の施行について（柳井谷地区）

問 現状の圃場を見ると同じような形態である。今回、全圃場整備に取り組まないのか。

答 今回を機に全圃場整

備に取り組むよう指導したが、水利形態の違いにより、地権者がパイプラインだけ取り組みたいと強い要望があり、このような計画となった。

☆平成20年度曾於市一般会計予算の補正について（所管分）

問 畜産振興基金運用状況について

答 平成20年8月まで655頭貸付している。

問 農地・農業用施設災害復旧について

答 年内で終わる計画であるが、災害の大きな場所は、平成21年1月にずれ込むところがある。

問 電源立地地域対策交付金事業で、八合原線の排水整備事業は何年度までか。

答 平成22年度までである。



災害調査（大隅町梶ヶ野）

「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書」の採択要請について

取り組みが極めて重要となつていくことから、採択すべきものと決定した。

公益森林の整備に対する公的機関の役割の強化、さらには過疎化、高齢化が進む中で、森林・林業の担い手である山村の再生に向けた積極的な